

79期 6月 重大事故 4件

作成日：2023年7月13日
安全品質環境推進部 統括グループ

再発防止対策欄/青地...対策完了 赤字...対策予定、継続中

区分	事故受付№	事故発生日	発生時間			地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度 ・品名	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事故内容	
			名称	本・支店、工場													
1	J7900079	2023/6/6	火	午後	18:30	中部			作業	41	3ヶ月	自動車部品 500個破損 (損害金¥1,000,000)	-			貨	パレットの爪を入れる場所の確認不足から、パレット上の製品自体を爪で押ししまい製品を落下させ破損させた。
	確認日	2023/6/23	金	確認者 (安全)			発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ リフト作業経験が3ヶ月と浅いが、当該事業所において1ヶ月リフト作業したことでもリフト操作にも慣れ自身の能力を過信したことで無理なリフト操作を行ってしまった。 ■ 事故発生時刻が18:50分と終業に近い時間であったので早く帰りたい思いもあり、雑な作業になってしまったことでパレットが傾き口前での一旦停止・ツマの高さ・幅・水平の確認を怠った。 ■ リフト作業員不足もあり、適切な教育期間も取れないまま作業を行わせてしまいリフト指導・作業ノウハウがでない状態になってしまっていた。 					再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> □ 安全に対する講習の実施。リフト安全教育動画での教育の実施。⇒ 6/10実施済 □ 起因者に対して、改めて個々の作業指導の実施作業力量評価の実施。⇒ 6/12~6/23実施済 □ 日々の安全パトロールの実施。⇒ 実施中 □ 現場責任者との週1回のミーティング開催による安全ヒアリングを行う。⇒ 実施中 			
2	J7900103	2023/6/30	金	午前	10:30	北関東			作業	52	13年 1ヶ月	右手首2か所骨折、左肘2か所骨折	-	-		労	倉庫内で保管貨物の在庫数確認作業で、バインターを持ちながら脚立にまたがろうとした時にバランスを崩して脚立から転落。右手首と左肘を骨折した。
	確認日	2023/7/3	月	確認者 (安全)			発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 数量確認の作業のため、すぐ終わるとの思いから脚立を使用してしまった。 ■ バインターを持ちながら脚立に登っており、バランスを崩さないだろうとの過信があり、危険予知が出来ていなかった。 ■ 手摺り付きの昇降台があるにも関わらず、作業場へ移動させる手間を省き、近くにあった脚立を使用した。 					再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> □ 倉庫内作業では脚立の使用を禁止とし撤去。⇒ 6/30~ 実施中 □ 高所作業時は手摺り付きの昇降台を使用する。⇒ 6/30~ 実施中 □ 本件を事業所内で周知し、定期的に場内パトロールを実施する。⇒ 7/3~ 実施中 			
3	J7900104	2023/6/29	木	午後	16:10	東関東			作業	34	1ヶ月	エンジン部材破損 (損害金 400,000円)	-			貨	倉庫内でネス3段目に製品パレットを格納する際、フォークポケットに正しく爪をさしていなかったため、偏荷重になり、パレットを旋回した際に落下し破損させた。
	確認日	2023/7/6	木	確認者 (安全)			発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ フォークポケットに正しく爪をさしていないため、パレットが偏荷重になり落下しやすい状態だった。 ■ 通路にパレットを仮置きしており、バックして旋回しないと荷役できない状態だった。 ■ ネス3段目で2積み段パレット荷役しており、高所作業が発生するレイアウトで蔵置していた。 ■ 作業員に対して基本動作教育が不足していた。 					再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> □ 発生者は事故惹起者教育、作業者全員に爪の差し位置・最大幅・重心・二重操作禁止等再教育。⇒ 6/30実施済 □ 作業前に、通路置き製品をはい替えをしてから作業スペース確保することを再教育。⇒ 6/30実施済 □ ネス保管は段数によって段積み制限を実施。(3段目：1PL 2段目：2PL 1段目：3PL) ⇒ 7/24実施予定 □ 2パレット目の貨物高さは1パレット目と合計して1,800mm以下にする。⇒ 7/24実施予定 □ 管理者が週一の場内パトロールを実施、異常個所随時確認・是正を行う。⇒ 実施中 			
4	J790107	2023/6/29	木	午前	11:00	中部			作業	56	8ヶ月	リーチリフト半環 (損害金 100,000円) スラック3台破損 (損害金 15,000円)	-			作	敷地内で出荷準備のため、庫内よりネスラックをプラットフォームヘリチリフトで搬送途中、前日の大雨によりプラットフォームが一部濡れていたことにより、タイヤがスリップししまい、リフト車体が約2メートル滑り、ネスラックと共にプラットフォーム下へ転落してしまった。
	確認日	2023/7/8	土	確認者 (安全)			発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前日からの大雨で排水管がオーバーフローし、プラットフォーム上へ雨水が流れ込んでしまった。(2022年10月から運用しているが、今回が初めて) ■ リーチリフトのタイヤ素材が、ウレタン製で滑りやすい状態となっていた。 ■ 水溜まり部分もゆっくりなら大丈夫だろうと過信してしまった。 ■ 前日から当日にかけての大雨の影響で事前準備が出来ず、焦ってしまった。 ■ 試験運転の結果、時速8kmで停止距離が約1Mの検証結果から、高速で進入した可能性が高い。 ■ 出荷時は、製品(ネスラック)をプラットフォーム端まで搬送するが、プラットフォームではリフト旋回が出来ないため、シャッター付近から前進走行となる。(プラットフォーム幅3.9M) 					再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> □ 今回のようなプラットフォームの路面状態の場合、水溜まり状態が完全になくなるまで、作業開始前に水切り作業を行う。⇒ 実施中 □ プラットホーム上は、水溜まりがなくとも、路面が濡れている場合は、リーチリフトでの作業を禁止とする。⇒ 実施中 □ リフトの速度上限を8kmに設定し、それ以上速度がでないようメーカーへ設定してもらう。⇒ 7月末実施予定 □ 庫内からプラットフォームへの進入に関して、製品の配置位置、リフトの減速位置の区画表示を行う。⇒ 7/11実施済 □ 各作業員の力量を再評価し、全員が共有することで、応援体制など計画的な作業準備を行う。⇒ 実施中 □ ワンポイントレッスンシートを作成し、現場へ表示することにより、全作業員へ周知する。⇒ 7/13実施済 			